

照井 明人さん（平成26年卒）

陸上競技選手（長距離）

株式会社SUBARU 品質管理部 勤務

#### ◇お仕事の内容を教えてください

品質保証本部全体の職場環境を整える部署の補佐を午前に行い、陸上部として午後から練習に励んでいます。

陸上部として活動する時間が多く、朝は5時から朝練習が始まり、午前は社内業務を行い、午後も練習をしています。時には1か月以上を合宿地で過ごし過酷なトレーニングにも励んでいます。



#### ◇仕事を通じどんなことに喜びを感じますか

苦しい、辛い練習を毎日のように行いますが、その練習を終えた時の達成感と練習や試合で目標タイムを上回る走りができる時や自己ベスト更新やライバルに勝てた時は喜びと安堵があります。

大会での結果が良いと家族、友人、会社、今までお世話になってきた方々等から祝福の連絡を頂くこともありますし、私の走りで皆が笑顔になっているのを見たとき、大きな喜びを感じます。

#### ◇将来の夢を教えてください

会社とチームの目標はニューイヤー駅伝入賞、数年後には優勝と大きな目標に向かっていきます。

会社に属して競技を行えているのもありますし、ニューイヤー駅伝が地元の群馬県で行われていることからチーム、地域の目標と夢にもなっています。

個人としても駅伝で活躍する一方、マラソンで世界と戦いたいと考えています。高校時から顧問の千田隆幸先生と共に世界で戦うという夢を持ち、今現在でもその夢は変わりません。

#### ◇専大北上高校ではどんな高校生活を過ごされましたか

陸上部に所属してインターハイ・全国駅伝で勝てるように練習に励みました。2つ上の兄にも勝ちたくて一生懸命練習していました。自動車科に所属して自動車の専門的な所で学びました。3年時のディーラー体験ではSUBARUに行って学びました。

#### ◇専北生に伝えたいメッセージは何ですか

勉強にも部活にも悔いなく全力で取り組んでいてもらいたいです。

恥ずかしながら私自身勉強を疎かにしてきた為、今になってもっと勉強しておけば良かったなどと後悔しています。特に多様化の進んだ現代では英語を使う場面が増えており、私も外国人選手との交流でも学ぶことが多くあります。今は無意味に思えても、大人になり自分の持つ知識に必ず助けられるはずなので、全力で取り組んでください。そして感謝の気持ちを忘れずに過ごしてみてください。学校に通えている事、勉強や部活ができる事、それらが当たり前ではなく支えがあって高校生活を過ごせているということです。

（※次ページは、照井さんのトレーニング画像と取材後記です）



\*\*\*\*\*

### ☆取材後記

駅伝ファンならずとも、今や全国テレビ放送で誰もが注目する「東京箱根間往復大学駅伝（通称「箱根駅伝）」」。その2017年大会の最終10区で、後に語り継がれるとんでもない出来事が起こりました。その出来事を起こした張本人が、照井さんです。

同駅伝大会の名門チームである青山学院大がトップゴールで3連覇を達成する中、照井さんは、予選会で本戦出場を逃した各大学の選手で構成される関東学生連合の一員として出走したためオープン参加扱いであり、順位やタイムは参考記録扱いでした。しかし照井さんはそんなことは気にしません。ひたすら前を行く選手の背中を追いました。そして10区を走った数十名の選手の誰よりも速く23キロを駆け抜けました。1時間10分58秒という記録は2位との差が僅か2秒のトップタイムであり、今もなお「幻の区間賞」と語り継がれています。

さて、そんな怪物を相手に緊張しながら取材交渉しましたが「自分ができることは何でもさせて頂きます」と爽やかなコメント。即、ファンになりました。

照井さん、ケガに気を付けて頑張ってください！ 専北人がみな応援しています！（担当：Y）